

社会福祉法人青空

令和4年度 事業計画

1. 事業計画

(1) 法人理念の浸透

令和3年より引き続きの新型コロナウイルスの収束がみえないまま、暮れには新型コロナウイルスのオミクロン株も出始めました。令和4年度は大きな流れにならないことを願いつつ、従来通り法人が目指している、法人に関わる全ての人が“しあわせ”を感じながら相互間のコミュニケーションを大切にする組織風土の創造を目指すと共に、職員ひとり一人がそれぞれの立場を理解し、チームとして最高のパフォーマンスを発揮できる状態を作り出せる施設づくりに更に力を注いでいく。

(2) 財政基盤の安定と透明性

昨年同様であるが、新型コロナウイルスの影響や老朽化した建物・備品の改修もあり前年度より一層厳しくなると予想される。

各セクションごと支出内容を精査し、無理・無駄がより少ない業務のあり方を園長・施設長を中心に各セクション主任と検討する。また、セクションごとの収支が安定するよう稼働率の向上・支出の削減に対する意識を全職員が持って業務を行えるよう働きかけを行う。

(3) 人材育成の強化

福祉施設にとって、人材育成・人材教育は大変重要な課題である。各職員が社会福祉法人青空の職員の一員として法令を順守し、職員の倫理規範を果たせるようサポートを行う。また職員一人ひとりが自己実現のために目標を立て、それに向かって学び、自己成長に繋げていけるような計画の立案をサポートする。

指導的立場の職員は、様々な立場の職種との情報共有やコミュニケーションをとることで物事を多角的に捉える視点を持ち、ピンチの中にも希望を見出せる柔軟さを身につけていきたい。

今年度シニア部門ではアセッサー4名の育成を目標とする。

保育部門では新人研修担当職員3名・現任研修担当職員3名・主任、リーダー研修担当職員1名の育成を目標とする。

(4) 法人内の通信・インフラの整備

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、人々の働き方・交流の仕方は激変した。

20年後を見据えて、通信、インフラの整備、リモートによる会議等のICT技術に対応できる社会福祉法人への移行を目指す。

2. 年間稼働率目標

年間受入人数上限 稼働日数/100%稼働数	保育園 361日 うち土日 104日/34,700名	デイサービス 257日/4,626名	有料老人ホーム 365日/6,570名
稼働率目標	95%	80%以上	95%
目標受入人数年間	1440	3700	6,241
目標受入人数 月間	120	308	520
目標受入人数 1日	平日:118名、土:40名、日:20名	14.7名	17.5名

3. 第三者評価の受審

今年度、有料老人ホーム又はデイサービスセンター青空どちらかが受審予定（新型コロナウイルスの感染状況に応じ変更あり）